

風の路からの お知らせとお願い

地域に新しい風を!

事業実施紹介コーナー

9/9 中田・石越フットセラピー来訪

フットセラピーの方々に入居者全員がマッサージをボランティアしていただきました。入居者の皆さんは終始笑顔でうっとりし、最高の気分を味わうことができました。又、楽しみにしています。

9/15「長寿を祝う会」開催

入居の方々合同の祝う会を実施。最高齢93歳の藤原さんが代表で挨拶しました。いつまでもお元気で。

10/27 第2回運営推進会議開催

ご家族のアンケートを基に検討が重ねられました。少数の方から雰囲気や対応で至らないのご指摘もあり初心に返りケアの見直しを図ります。

12/2 第3回入居検討委員会開催

3か月に1度入居検討委員会を実施します。現在の待機者は99名と増加、介護度1以上の方は申請できます。

職員が毎月定期的に各委員会を実施

苦情対応委員会・身体抑制ゼロ委員会・感染症予防委員会・褥瘡予防・事故防止委員会・給食委員会・広報委員会・職員研修委員会等の委員会を開催しサービスの向上に努めています。

皆様方のご厚意と善意に感謝致します。

ボランティアにご協力を!

*ユニットで入居者との**お話相手**はいかがでしょうか?
馴染みの関係が生まれ、地域の皆様との大切な交流の場となります。

*「歌うボランティア」募集中

風の路のパブリックスペースにカラオケを設置しました!
入居者の皆さんと、童謡・演歌・民謡など、何でも楽しんで歌いましょう!

*「おいとこ」歌・踊りを教えていただけませんか?

入居者の皆さんは**おいとこ**が大好きです。

*その他にも楽器演奏・絵手紙ボランティア・書道 他 何でもOK。
先ずはお出てください。

今後の行事あれこれ

- ①職員全体研修
12/15 入居者様へのサービス向上を目指して。
- ②ほっとサロン「あじさい」 毎月第1火
心の元気サポーター 2名来所
- ③第3回運営推進会議
12/22 午後1時半～3時
- ④風の路介護出前講座
H24年1月～2月 3回コース
町内2地区で介護講座を実施
- ⑤「風の路フォーラム」
H24年2月末 風の路 会議室
各方面の方から風の路のあり方を語り合う機会とします。
- ⑥石越理容組合「風の路床屋」
毎月希望月曜日 10時～11時半
入居者・ご家族の方々はとても喜ばれております。美しくなる事にどなたも満足です。

お知らせ

- 風の路の「パブリックスペース」のご利用を! 教室・習い事・見学・団らの場としてお使い下さい。お電話お待ちしております。
- 「ご意見箱」設置しています。ご意見をどうぞ
- ショートステイは10名まで入所できます。1日～30日間利用可能。送迎あります。ご相談下さい。

電話 0228-34-4165 (よいろこ)
FAX 0228-34-4166

編集後記

地域の方々、家族の皆さんのご協力のもと、「風の路まつり」を開催することができました。大勢の方にお出でいただき、入居者の方々も大変喜ばれました。入居者の笑顔や喜びを、この広報でもお伝えできれば幸いです。この広報をお読みになってのご意見・ご感想をお待ちしております。

風の路 広報委員会一同

風の路だより

2011年12月——第2号

基本理念

これまでの生き方を尊重し、地域との絆を大切にして笑顔で居心地の良い暮らしをつくります。



11月19日第1回「風の路まつり」が行われました。会場には老若男女が集い、試食コーナーでは、胃ろうや鼻くう栄養で栄養を摂取されている入居者の方々が自分の口から食べることができる「ムース食」の試食が好評でした。普段の給食でも普通食・粗刻み食・刻み食・ムース食の種類がありますが、入居者に合わせた栄養の摂り方を大切にしています。そのためには、医師と歯科医師・栄養士・看護師・ケアワーカーの連携が大切になります。入居後に「口から食べたい」の願いがかなった方が3名になりました。「自分の口から食べる」。そのささやかな願いを叶える努力を続けていきたいものです。



「作り方教えて」



ムース食に変身
(かたい煮付・肉じゃが
りんごコンポート)

普通食



「どんな材料でも編めるんですよ」



入居者から
ひと言

あじさいユニット

今回、風の路まつりに参加してみ
て、施設いっばいに様々な出店や作
品が並びとても楽しいひと時を過ご
すことができました。小さな子供た
ちも来てくれてうれしかったです。
ぜひまた参加したいです。



手づくりの作品に「どれがいいかしら」



小学生福祉ポスター

入居者から
ひと言

りんどうユニット

昔の懐かしい歌を久しぶりに口づ
さめてとても気持ち良かった。家族
や地域の人たちがたくさん来てくれ
久しぶりの会話に花が咲き最初から
最後まで大いに盛り上がりとても楽
しかった。



無口な男性群もニコリと



入居者作品



保育所入所児作品

ご家族感想

ばあちゃんが入所してから早いもので5ヶ月が過
ぎました。入所当初は私達が行っても環境が変わっ
てか、周りの方々と馴染めない様で、淋しそうに見
えて気になりました。

でも職員の方の「私達介護のプロがついておりま
すから」の一言で安堵致しました。

11月19日には風の路まつりが催され、ユニットの
皆さんとカラオケで歌を歌い、楽しそうなばあちゃ
んを見て、私も嬉しくなり一緒に口づさ
んで楽しい時を過ごしました。

樋口サツキ様（樋口とよの様のご家族）

ボランティアさん感想 絵手紙コーナー

風の路まつりに絵手紙ボランティアとして
参加し、カレンダーに添える絵手紙を仲間で
40枚程描きました。おりおり機カレンダーに
絵手紙を貼り、色とりどりの作品が完成しま
した。今頃は入居者さんの部屋に飾られてい
る事でしょう。このまつりに少しでも協力出
来た事をととても嬉しく思っております。当日
は建物の中が一杯になる位沢山の人が賑わっ
ており、風の路がみなさんに随分と関心を持
たれているんだなあと感じました。また、入
居者の皆さんがお揃いのはっぴ姿でニコニコ
と笑顔で過ごされていたのがとても印象的
でした。

稲邊きよ子様（絵手紙ボランティア）



♪月ご家族も一緒に大きな声で♪

第1回

11月19日

風の路まつり開催

多くのボランティアさん、地域の方々、家族の皆さんのご協力のもと、「第1回 風の路まつり」を開催することができました。入居者の方々も大勢参加され、大好評となりました。抹茶体験コーナー、カレンダー作りや人形作り、フラダンスの踊りやカラオケコーナー、綿あめ、作品（保育所、小学生、入居者、職員）展示コーナー、バザーやくじ引きなど豪華イベント盛りだくさんで終えることができました。今回は、その時の様子をお伝えします。

ボランティアさん感想

綿あめコーナー

私は風の路出店にお手伝いをしています。

過日行われた風の路まつりに参加し、地域の方々・家族・親族、ボランティア職員の皆様の協力で素晴らしいお祭りが出来た事に驚きました。私の母も生前、2カ所の特別養護老人ホームを利用していました。その時の私は、あまり協力的ではありませんでした。（反省しています）こんな私の気持ちを和ませてくれる事がありました。

綿あめコーナーで入居者の方2～3人が昔話をしているのでしょうか。童心に帰ったような笑顔で食べている様子を見て、家族が安心してお願いできる特別養護老人ホームだと実感しました。これからも、ホームに顔を出しますので宜しくお願いします。

小野寺京子様（風の路出店ボランティア）

入居者から
ひと言

さざんかユニット

綿菓子やお抹茶等、普段はなかなか味わえない物を大変美味しくいただきました。また、私自身若い頃踊りをしていたこともあり、地域の方々によるフラダンスを拝見し、とても懐かしい気持ちになり心が温まりました。（渡部 三代子さん）



入居者から
ひと言

さざんかユニット

今回の風の路まつりのイベントのひとつとして施設長さんを含め、参加者全員でフラダンスを踊りました。会場一体となって踊り、おまつりが一層にぎやかになりました。

（熊谷 正勝さん）

ボランティアさん感想 カレンダーコーナー

第1回風の路まつりに参加させて頂く機会がありました。ボランティアとは名ばかりでしたがパンフラワー教室の仲間の協力で、自分たちの方が楽しませて頂きました。震災以来、多くの人達に助けられ、人は一人では生きていけない事を実感しました。まずは自分に出来る事から少しずつ始めようと思っております。

石越町 パンフラワー教室様
（おりおり機カレンダー作りボランティア）



ボランティアさん感想 お茶席コーナー

「風の路まつり」には、お茶席を設けさせて頂き有難うございました。地域でお役に立たせて頂く事が私達にとっても、とても嬉しい事でございます。

入居・入所なさっている方々に、何でも本物を提供したいという施設長さんの想いは、施設内を見回すと感じる事が出来ました。今、認知症で居られる方もこれまでの人生の歴史があり、プライドがあるからという視点から入居者（利用者）の皆さんを認められる運営方針には、目から鱗の感が致しました。

私達も今回は初めてでもあり、一生懸命致しましたが、ただ美味しく召し上がって頂くだけに終止したかと存じますが、また何かの機会がありましたらどうぞお声掛けください。

ところで、お茶は美味しかったですでしょうか、苦かったですでしょうか…

登坂喜代子様（茶道教室ボランティア）



地区の皆さんも先生のお手前拝見「おいしくいただきました」



フラダンスには笑顔が一番

ご家族感想

先日は、風の路まつりに参加し、歌やフラダンスと二人で一緒に過ごせた楽しいひとときでした。パンやわたあめなどをちぎって食べさせ、妻もとても美味しかったと思います。皆様にはいつも心暖まる介護をしていただき、感謝でいっぱいです。施設には、行く機会が少なくして申し訳ありませんが、これからも長くお付き合いして頂く様お願いいたします。

佐々木 正様（佐々木光子様のご家族）